

4th Adaptive Stand-up Tennis East Japan Tournament

第4回障がい者立位テニス東日本大会

報告書 Report




General Incorporated Foundation
JAPAN ADAPTIVE STAND-UP TENNIS ASSOCIATION

一般社団法人 日本障がい者立位テニス協会

2024.11.8

第4回障がい者立位テニス東日本大会 実施概要

- 📍 **日 時** 実施日:2024年10月27日(日)
受付開始 9:15~、開会式 10:00~、試合開始 10:30~
- 📍 **場 所** 千葉県蘇我スポーツ公園 フクダ電子ヒルスコート
千葉県千葉市中央区川崎町2-18
(屋外オムニコート 10面 No.11~20使用)
- 📍 **主 催** 一般社団法人 日本障がい者立位テニス協会 (JASTA)
東日本大会実行委員会 
- 📍 **後 援** 千葉市・千葉市教育委員会
- 📍 **協 賛** タムラクリエイト株式会社 (Ken's)・BNPパリバ・グループ・ヨネックス株式会社
株式会社キモニー
- 📍 **グレード** JASTA 1,000 point
- 📍 **大会委員長** 柴谷 健 (JASTA)
- 📍 **競技委員長** 中川勝就 (公益財団法人日本プロテニス協会)

- 📍 **参加資格** 身体障害者手帳を保有し、肢体に障がいがある方
(四肢のいずれかの切断、欠損、片麻痺、四肢麻痺、先天性の奇形)
- 📍 **ク ラ ス** PST-1・PST-2・PST-3・PST-5
- 📍 **出場者数** PST-1 = 4名・PST-2 = 8名・PST-3 = 8名・PST-5 = 4名
- 📍 **参 加 費** 5,000円 (一般)・3,000円 (JASTA PLAYERS CLUB会員)
- 📍 **競技種目** シングルス
- 📍 **審判方法** セルフジャッジ
- 📍 **競技方法** PST-1 = ラウンドロビン方式、PST-2・PST-3 = トーナメント方式
JTA テニスルール・PST-3は2バウンド返球
PST-5 = ラウンドロビン方式
規定のコートサイズ、オレンジボール使用、2バウンド返球
それ以外はJTA テニスルールに準じる
- 📍 **使 用 球** PST-1・PST-2・PST-3 = ヨネックス ツアープラチナム
PST-5 = ヨネックス マッスルパワーボール30(オレンジボール)
- 📍 **表 彰** 各クラス 優勝・準優勝
- 📍 **来場者数** 約50名

開催へのご支援お礼

この大会を大きな事故もなく無事に終わられました事を皆さまにご報告し、ご支援頂きました全ての皆様に心より感謝を申し上げます。

今大会では、千葉市、千葉市教育委員会のご後援を賜り、ご協賛も2社から Gold 協賛を、2社から物品協賛を頂きました。協賛企業の BNP パリバ・グループ様より1名のご担当者も視察にお越しくださいました。協力を名乗り出てくださいました運営スタッフの皆様には、設営撤収やボールパーソン、交流イベントの運営をお手伝い頂けてとても助かりました。

今年 JASTA PLAYERS CLUB に入会された選手のうち2名が弊協会の主催大会に初出場され、ご家族を連れて観戦にお越しくださいました方もいました。また、弊協会の Youtube を見ていてずっと気になっていたというご一家も群馬からお越しになり、全試合終了後に行った交流イベントにも参加し、閉会式まで見届けてくださいました。都政新聞から取材も入り、11月には立位テニスについての記事掲載の予定です。

開催日が全国障害者スポーツ大会の開催期間内であったため、一部の選手はそちらの大会に参加されたため今大会への出場が叶いませんでした。後日その選手より優秀な成績を納められたとのご報告があり、金メダルを見せて頂きました。(全国障がい者スポーツ大会ではテニス種目の実施がありませんので、他競技で出場されています)

今年の1月に開催された全豪オープンの All Abilities Day では立位テニスのショーケースが行われました。6月に開催されたスペインとイタリアでの国際大会は国際テニス連盟が公認して開催されました。9月には全米オープンで8名の選手による Pra Standing Invitational (招待試合)が行われ、アジア地域からただ1人、弊協会所属選手が選出されて出場しました。立位テニスの国際的な認知は向上を続けています。

弊協会も、この競技をパラリンピック種目入りやプロ化も目指せる夢のある競技に育てていけるよう、地道に活動を続け、国内での競技の普及発展に努めて参ります。今後も立位テニスにご期待ください。

第4回障がい者立位テニス東日本大会
大会委員長

柴谷 健 Ken SHIBATANI



今大会にご協力頂いた皆さま

<大会運営スタッフ> 敬称略、50音順

大会本部

JASTA PARTNERS CLUB：坂倉陽子・中川勝就・成島代志子

大会ドクター

JASTA PLAYERS CLUB：太田詔(出場選手兼務)

大会記録

一般：泉仁志(スチールカメラ)

ボールパーソン・受付・運営

JASTA PARTNERS CLUB：雨宮郁夫・今村佳奈子・今村正幸・宇野典子・神崎千鶴・庄内久美・高橋等・

高橋唯・高野修・高野洋子・原田聖也

一般：木村輝哉

心よりご協力に感謝申し上げます。

会場アクセス

<千葉県 蘇我スポーツ公園 フクダ電子ヒルスコート>



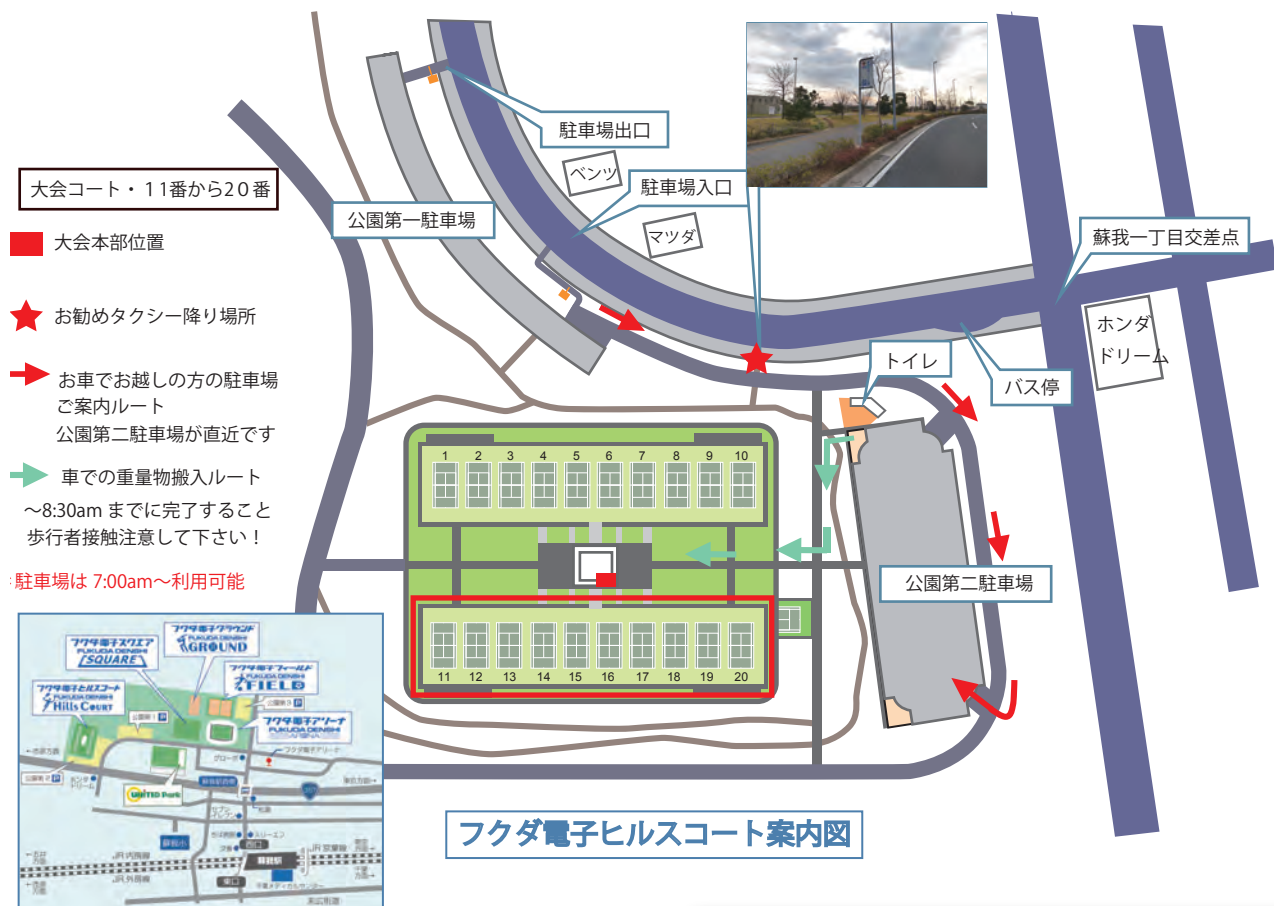
電車

JR 蘇我駅西口より徒歩 30 分

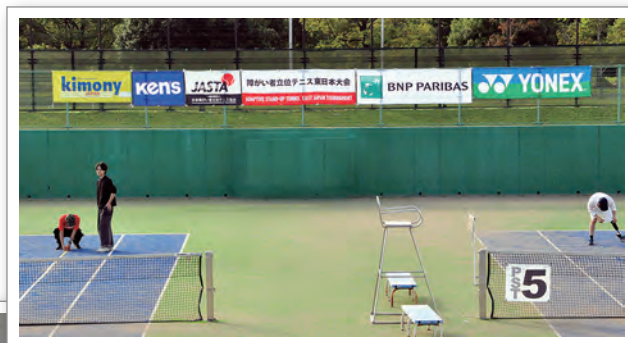


車

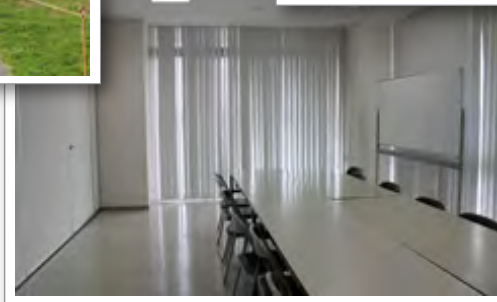
第 2 駐車場 (1 時間 100 円・障がい者は料金免除)



会議室前
(左右に 10 面づつコートがあります)



コート



会議室
(大会本部、選手待機室に使用)

スケジュール

- 2023年11月下旬 ● 千葉市へ優先予約希望提出
 - ・希望日を複数提示
- 2024年3月中旬 ● 千葉市より日程と場所の予約確定通知、日程が確定
- 2024年8月中旬 ● 大会方針を定め、協賛依頼開始
 - ・予算書・大会要項を策定
 - ・協賛金、商品協賛、パンフレット広告協賛の依頼開始
 - ・関係各所に大会概要を通知し、情報拡散協力を依頼、スタッフ募集開始
 - ・千葉市・千葉市教育委員会に後援申請
 - ・キービジュアル作成、ポスターとチラシデザイン開始
- 2024年8月19日 ● 大会専用Webページ立上げ
 - ・大会要項リリース、各SNSで大会告知
- 2024年8月下旬 ● Gold協賛、物品協賛決定
 - ・実行予算書作成
 - ・千葉市・千葉市教育委員会より後援承認
 - ・会場指定管理者と事前打ち合わせ
 - ・大会使用球と表彰副賞・参加賞の協賛が決定
- 2024年9月4日 ● 大会告知印刷物を発注
- 2024年9月7日 ● 出場申し込み受付開始
- 2024年10月5日 ● 出場申し込み締め切り
 - ・ドロー会議
 - ・中央・美浜公園緑地事務所へバナー掲出にかかる占用許可申請
 - ・表彰用品発注
- 2024年10月13日 ● 仮ドロー発表・制作物発注
 - ・プログラム印刷入稿
 - ・大会バナー発注、運営用品購入
 - ・当日配布資料・サイン作成
 - ・保険加入・占用料納付・お弁当予約
- 2024年10月18日 ● 大会当日の傷病受け入れ依頼を千葉メディカルセンターに依頼
- 2024年10月22日 ● 協賛品、表彰用品受領
 - ・配布・掲示用資料出力・大会用品検品、当日案内を関係者にメール
- 2024年10月26日 ● 搬入物仕分け・積み込み
- 2024年10月27日 ● 大会当日
- 2024年10月28日 ● 大会パンフレットを協賛各社へ送付
- 2024年10月31日 ● 戦績によるJASTAポイント会議
 - ・出場選手のJASTAポイントを反映したランキングをリリース
 - ・報告書・収支報告書作成・選手・協賛・協力の各所へ報告
- 2024年11月8日 ● 大会報告書作成
 - ・印刷へ回し、完成後に関係各所に郵送予定

ドロー・結果 PST-1

プレゼンター：柴谷健（東日本大会委員長）

Photo by JASTA



🏆 優勝 藤川昌大選手（徳島県）

Photo by JASTA



🏆 準優勝 シェラブ ウィリアム選手（東京都）

PST-1 Draw

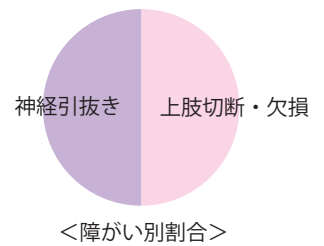
全試合：6 ゲーム先取ノーアド

総当たり戦の為、コンソレーション無し

2者間で勝ち数が同じ場合 = 直接対決の勝者が上位

3者間で勝ち数が同じ場合 = ゲーム取得率が高い方が上位

(ゲーム取得率 = 総取得ゲーム数 ÷ 総ゲーム数)



Masahiro FUJIKAWA Soichiro SATO Masahiro CHIBA Sherab William

	藤川昌大	佐藤聡一郎	千葉正弘	シェラブ ウィリアム	勝 負	順位	JASTA point
藤川昌大		⑥ 1	⑥ 0	⑥ 0	3勝0敗	1	1,000
佐藤聡一郎	1 6		⑥ 3	0 ⑥	1勝2敗	3	480
千葉正弘	0 6	3 6		0 6	0勝3敗	4	360
シェラブ ウィリアム	0 6	⑥ 0	⑥ 0		2勝1敗	2	600

ドロー・結果 PST-2

プレゼンター：柴谷健（東日本大会委員長）

Photo by Hitoshi IZUMI



優勝 村山巧弥選手（神奈川県）

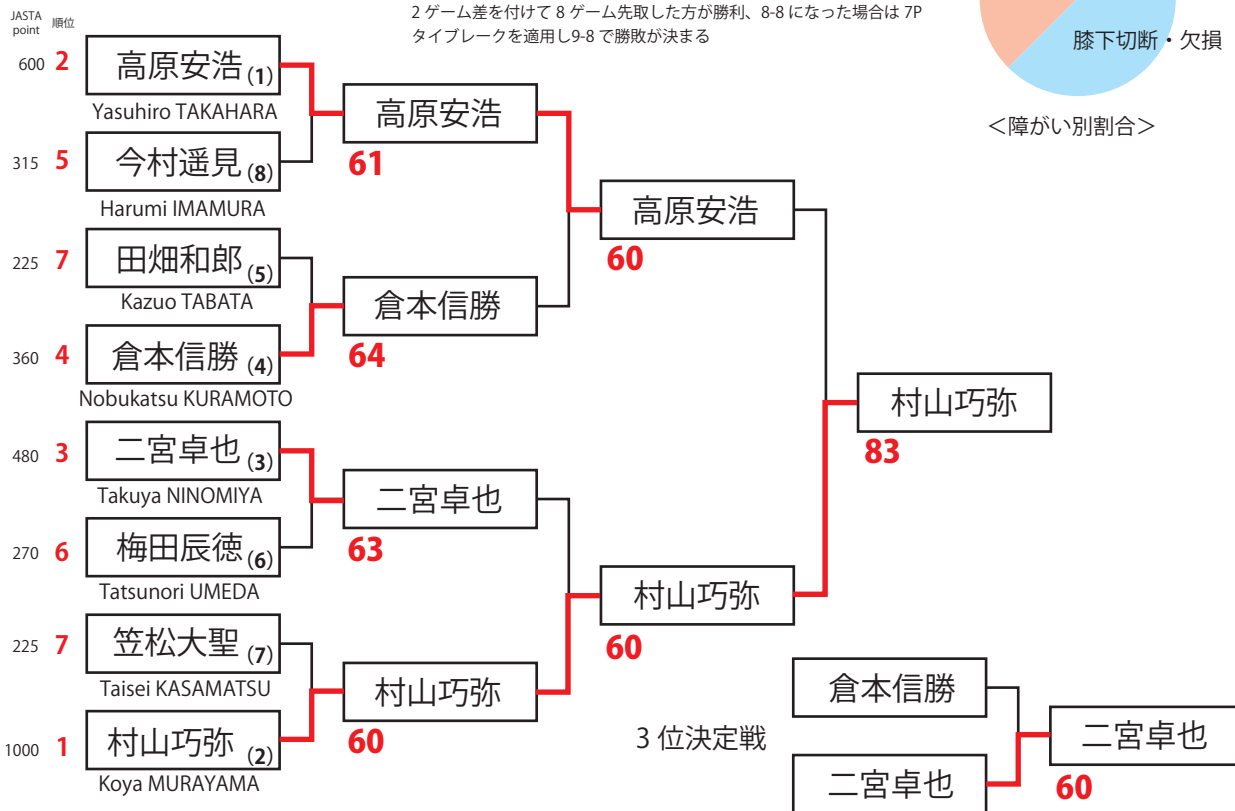
Photo by Hitoshi IZUMI



準優勝 高原安浩選手（東京都）

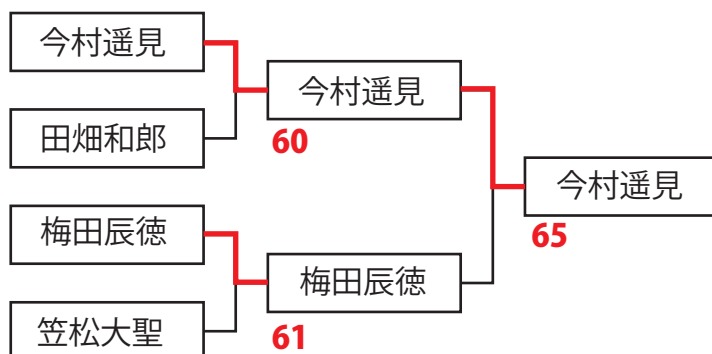
PST-2 Main Draw

本戦・3位決定戦：ノードバンテージ6ゲーム先取
 本戦決勝：8プロセットマッチ（デュースあり）
 2ゲーム差を付けて8ゲーム先取した方が勝利、8-8になった場合は7P
 タイブレークを適用し9-8で勝敗が決まる



PST-2 Consolation Draw

全試合：ノードバンテージ6ゲーム先取



※名前の後に数字が記してあるのはシード順です
 JASTA RANKINGの順位をもとに決定しています

ドロー・結果 PST-3

プレゼンター：柴谷健（東日本大会委員長）

Photo by Hitoshi IZUMI



優勝 波田野裕介選手（神奈川県）

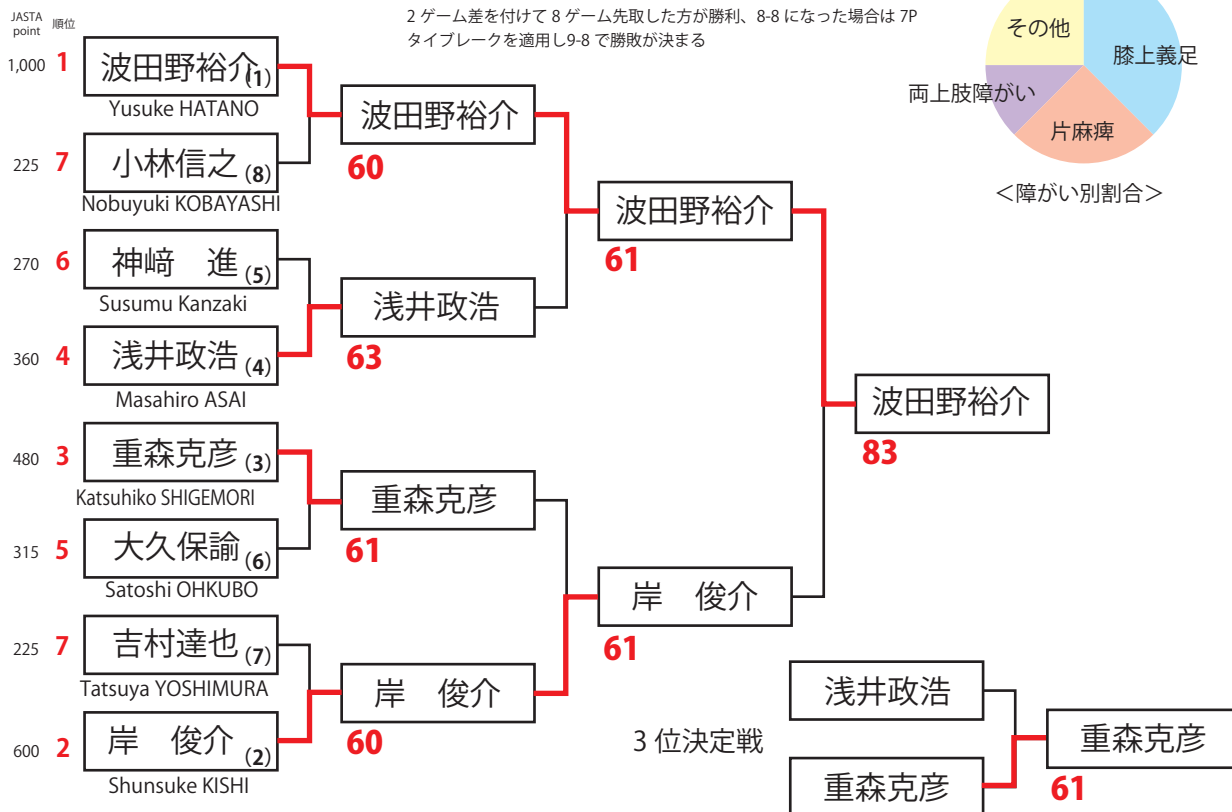
Photo by Hitoshi IZUMI



準優勝 岸 俊介選手（神奈川県）

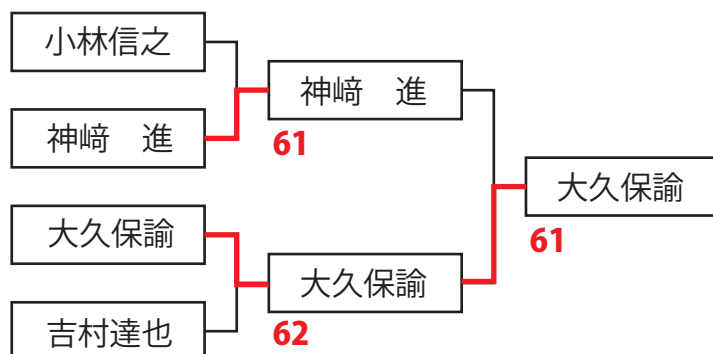
PST-3 Main Draw

本戦・3位決定戦：ノーアドバンテージ6ゲーム先取
 本戦決勝：8プロセットマッチ（デウスあり）
 2ゲーム差を付けて8ゲーム先取した方が勝利、8-8になった場合は7P
 タイブレイクを適用し9-8で勝敗が決まる



PST-3 Consolation Draw

全試合：ノーアドバンテージ6ゲーム先取



※名前の後に数字が記してあるのはシード順です
 JASTA RANKINGの順位をもとに決定しています

ドロー・結果 PST-5

プレゼンター：柴谷健（東日本大会委員長）

Photo by Hitoshi IZUMI



🏆 優勝 関谷 譲選手（茨城県）

Photo by Hitoshi IZUMI



🏆 準優勝 青木祐成選手（東京都）

PST-5 Draw

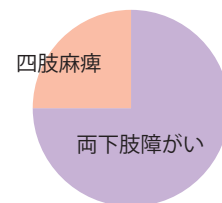
全試合：6 ゲーム先取ノード

総当り戦の為、コンソレーション無し

2 者間で勝ち数が同じ場合 = 直接対決の勝者が上位

3 者間で勝ち数が同じ場合 = ゲーム取得率が高い方が上位

(ゲーム取得率 = 総取得ゲーム数 ÷ 総ゲーム数)



<障がい別割合>

	Yusei AOKI	Joe SEKIYA	Kana OHWAKI	Sho OHTA	勝負	順位	JASTA point
青木祐成		1 6	⑥ 2	⑥ 0	2勝1敗	2	600
関谷 譲	⑥ 1		⑥ 0	⑥ 1	3勝0敗	1	1,000
大脇佳奈	2 6	0 6		⑥ 5	1勝2敗	3	480
太田 詔	0 6	1 6	5 6		0勝3敗	4	360

開会式

All Photo by Hitoshi Izumi



JASTA CLUB メンバーはお揃いの JASTA ロゴ入り赤 T シャツを着用



競技説明は、競技委員長の中川勝就様よりご説明いただいた

表彰・閉会式

All Photo by Hitoshi Izumi



<入賞者>PST-2、PST-3、PST-5 の優勝者と準優勝者 (PST-1 の優勝者と準優勝者は先に表彰を済ませた)



優勝者にはカップ、準優勝者には盾を贈呈



入賞者のスピーチ、PST-5 優勝の関谷選手は試合会場に向かう車内でスピーチを考えていたとのこと。気迫と覚悟を感じました。



<大会委員長>
JASTA 柴谷健よりお礼の言葉

Photo Gallery

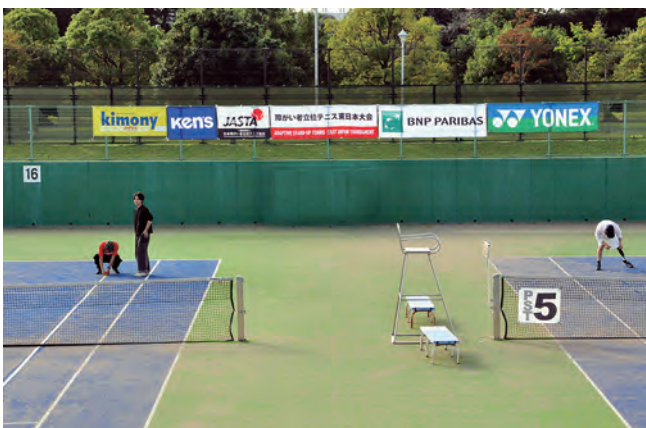
Photo by Hitoshi Izumi



設営時のスタッフミーティング



PST-5 用オレンジステージコート作成、ネットにクラスバナー設置



No.15~16 コートの間に大会バナーと協賛バナーを掲出



オーダーオブプレイ準備



本部設営



選手受付



受付配布物



募金箱設置 (集まった 8,050 円は寄付金として一般会計に計上)

Photo Gallery

Photo by Hitoshi Izumi



選手と運営スタッフにはお弁当を配布



試合の合間に昼食を取る



観戦風景



観戦風景



千葉県議会議員の秋山あたる様が大会を視察



都政新聞から取材を受ける



<交流イベント>全試合終了後に実施「選手とラリー」
立位テニスを知って頂く目的で誰でも参加可能なイベントを併催



<交流イベント>全試合終了後に実施「ストラックアウト」
立位テニスを知って頂く目的で誰でも参加可能なイベントを併催

Photo Gallery

Photo by Hitoshi Izumi



<PST-1>佐藤聡一郎選手・右腕神経叢引き抜き損傷



<PST-1>千葉正弘選手・右前腕切断



<PST-2>今村遥見選手・右片麻痺



<PST-2>梅田辰徳選手・下肢全ての指を失ったもの



<PST-2>笠松大聖選手（初）・左下腿切断



<PST-2>倉本信勝選手・左下腿切断



<PST-2>田畑和郎選手・左指機能軽度障害・左上肢機能障害



<PST-2>二宮卓也選手・左下腿切断

Photo Gallery

Photo by Hitoshi Izumi



<PST-3>浅井政浩選手・左片麻痺



<PST-3>大久保諭選手・左大腿切断



<PST-3>神崎進選手・四肢関節拘縮症



<PST-2>小林信之選手・右下肢機能障害



<PST-3>重森克彦選手・右片麻痺



<PST-3>吉村達也選手・左下肢麻痺・左半盲



<PST-5>太田詔選手・両下肢機能障害



<PST-5>大脇佳奈選手・二分脊椎症

収入の部

項目	金額(円)	内容
参加費	75,000	3,000円/1人、25名(直前キャンセル1名分含む)
特別協賛金(Gold)	400,000	2社様より(タムラクリエイト株式会社・BNPパリバ・グループ)
広告協賛金	0	
寄付	0	
協会負担金	0	
収入合計	475,000	

支出の部

項目	金額(円)	内容
会場使用料	0	(会場使用料は千葉市による100%免除)
都市公園占用使用料	23,440	千葉市(協賛各社バナー掲出)
大会使用球費	0	(協賛)
印刷費(※)	32,381	A4チラシ500枚、A2ポスター30枚、A4パンフレット150部 A4報告書100部
デザイン版下作成費	30,000	R-WORKS
会場装飾費	15,862	バックボード作成
配布資料制作費	20,000	対戦表、トーナメント表
会場装飾備品費	0	既存流用
オレンジコート作成備品費	2,230	50mm巾マスキングテープ
事務用品費	0	既存流用
表彰用品費	29,590	優勝カップ4点、準優勝盾4点
参加賞費	8,928	大正製薬リポビタンSports
送料・通信費(※)	11,811	チラシ、ポスター、資料の発送費
衛生・救護用品費	0	既存流用
会議費	2,270	会議室利用料、喫茶代
選手・運営スタッフ昼食費	22,532	お弁当+水
運営スタッフ謝金費	45,000	3,000円×10名、5,000円×3名
旅費交通費	9,053	高速料金、ガソリン代
イベント保険費	3,398	120名(選手、スタッフ、イベント参加者)想定
大会本部経費	60,000	競技委員長、競技副委員長、大会メディカル経費
大会記録費	20,000	スチールカメラマン1名
マニュアル・資料作成費	30,000	space design studio arc
雑費	2,550	駐車場代、振込手数料
未精算分見込み	約5,000	報告書送料など約5,000円見込み
支出合計	374,045	(※)11月8日現在未精算の大会経費有り

収入合計 475,000円 - 支出合計 374,045円 = 100,955円

※ 11月8日現在、未精算の支出があります。支出では見込み額を計上、収入より支出が上回る場合は協会負担金を拠出し、収支がプラスマイナス0になるようにします。余剰金は協賛各社さまとの取り決めにより弊協会活動費に算入します。

The 4th Champions & Runners 第4回チャンピオンと準優勝者

Photo by Hitoshi Izumi



PST-1 優勝 右上肢引き抜き損傷の藤川昌大選手



PST-1 準優勝 左手の一部欠損のシェラブ ウィリアム選手 (初)



PST-2 優勝 左片麻痺の村山巧弥選手



PST-2 準優勝 左下腿義足のの高原安浩選手



PST-3 優勝 左大腿義足の波田野裕介選手



PST-3 準優勝 左大腿義足の岸 俊介選手



PST-5 優勝 両下肢機能障害の関谷 譲選手



PST-5 準優勝 頸髄損傷の青木祐成選手